



2020年8月28日  
カトリックさいたま教区 司教  
マリオ 山野内 倫昭

## 新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応について (第11次)

主日のミサの段階的な再開の開始から2か月を経過しました。慎重に再開の準備を行っていた教会も9月の第1主日から再開されます。主なる神と皆様へ心から感謝いたします。感染拡大の第2の山は越えたかもしれないとの報道もある中、今回も「対応(第11次)」の立案に先立って、司祭の皆様のご意見を伺いました。その結果、教区としては、基本的には現在の対応をさらに1か月間継続することにいたしました。年齢制限の解除の可能性も検討いたしましたが、解除はまだ無理との判断をいたしました。引き続き、大きな犠牲をお願いしますこと、申し訳なく思います。高齢者の皆様とご一緒に教区内のすべての教会で、以前と同じように安心して主日を祝い、また秘跡に与れる日が必ず来ることを信じながら、気を緩めることなく、皆さんと忍耐強く歩んでいきたいと願っております。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 9月30日まで、基本的には「対応(第10次)」を続けます

ただし、以下の変更を行います。

1. 土曜日に行われる「前晩のミサ」の公開を許可いたします。なお、日本語ミサ、あるいは国際ミサとなさせていただきます。
2. 復活の主日を目指して準備された洗礼式については、最小限の人数で行うこと、感染防止のための相応しい配慮を行った上でなら行うことができます。
3. 小教区内にある修道院・修練院内の聖堂で行われる平日のミサについては、細心の注意を払っていただくことを条件に、公開の判断を修道院長に委ねます。

(付記) 9月から月のはじめに1度、司教のメッセージの動画配信を行います(教区のホームページ上)。また、小教区のミサの動画配信については、近く、広報委員会から、新しいガイドラインをお知らせいたします。

アヴェ・マリア!